

NPO法人グローバルリーダーシップ・アソシエーション(GLEA)の  
メールマガジン第135号をお届けします。  
ご意見・ご感想はglea@npo-glea.orgまで。

◆今号の内容

1. トピックス
2. 最新の活動情報
3. これからの活動情報
4. コラム 野村美明GLEA理事長

---

1. トピックス

---

---

2. 最新の活動情報

---

---

3. これからの活動情報

---

- ・定例理事会および総会が6月に予定されています。
  - ・会員の参加機会拡大のために、オンラインミーティングは実施したいと思います。
  - ・大学対抗交渉コンペティション<<http://www.negocom.jp/>>運営委員会が今月開催され、第20回大会(2021年)の日程が決定される予定です。
- 第20回大会を記念する企画を募集しています。ぜひアイデアをお寄せください。

---

4. 今月のリーダーシップ情報【コラム／column】

---

「居眠りできない参加型授業メニューは学べるという話」  
野村美明 弊法人理事長(大阪大学特任教授)

フェイスブックが自動的に昔の思い出というのを送ってくるが、どういう基準で送ってくるのだろうか。ときどき授業でなるほどと思った学生の感想を投稿しているのだが、最近同じ授業についての感想が2つ出てきた。せっかくなるほど思ったことを忘れている。まとめてメモしておかねば。

大学を退職する直前に、今までやったことのない1年生向け法学の授業を一人で担当することになった。現代教養-現代の法と政治を考えるという授業だった。退職間際の教員にしんどい授業をさせんといてと頼んだが、順番なのでと押し切られてしまったのだ。

しょうない。せっかく国際私法や国際取引法だけではなく、いろいろなおもしろい人達との出会いによって交渉やリーダーシップまで学ぶようになったので、理工系の学生も居眠りさせないぞと、参加型学習のメニューをお出しすることにした。

学びその1 賭博を合法化すべきという立法ゲーム(原作:劇団衛星代表蓮行氏)をしてもらって、その振り返りシートを採点していたら、「授業で積極的に発言する・・・のは難しいけど、今日みたいに党首とか議長とかという役職に助けられて発言する手がある」と思ったとの感想があった。

なるほど。模擬とはいえ役割は人を作り、権限は交渉力になるのだ。企業のトップから聞く経験談と同じなのだ。教室は社会のマイクロコスモス。

学びその2 法学はパンの学問かというテーマで話をした時、チャイコフスキーもゲーテもシューマンも親に音楽や詩では食べていけないといわれて法学部に行かされたという例をあげた。すると学期末レポートに(指揮者の)Karl Böhmも法学博士だからと書いてあったので、なるほどと高評価を与えた。学生は教師が知らないことを色々知っているのだ。

教訓 多様な学生に居眠りできない授業メニューを提供すると、通常の授業では得られないおもしろい反応が返ってきて、得るところが多い。

---

## 情報募集中

---

メールマガジン「グローバルリーダーシップ通信」で、  
会員の皆様に発信されたい内容や活動等がございましたら、  
毎月20日頃迄に事務局までご連絡下さいますようお願い致します。

---

## 本メールマガジンについて

---

配信先ご変更や配信ご不要の場合は、件名に「配信先変更」又は  
「配信不要」と明記してglea@npo-glea.org迄ご連絡下さい。

=====  
発行元：NPO法人グローバルリーダーシップ・アソシエーション  
発行責任者：野村 美明  
編集者：GLEA事務局 神谷 留奈  
(TEL)070-6560-2633  
(FAX)06-6853-3081  
(E-mail)glea@npo-glea.org  
ウェブサイト <http://www.npo-glea.org/glea/>  
=====